

原稿用紙一枚で作る
クトゥルフ神話TRPG
オリジナルシナリオ
「夢見る人形」

ユキ・オトコ

シナリオ

巷では奇妙な殺人事件が頻発していた、初めの事件からすでに3か月で5件の殺人事件が行われている。「顔無し事件」と呼ばれるこの事件の被害者は皆首から上を強引に切り取られたような状態だった。犯行動機や犯人像も不確かなこの事件の共通点は「犯行時刻が夜」「凶器はほとんどが電気工具や工作機械」であることだった。

6件目の事件が起きた際、探索者の友人で鉄工所の熟練工だった人物が重要参考人として警察に連行された。彼の休暇と犯行日時が完全に一致していたのである。

探索者は彼に事情を聴こうと警察署に出向くが、面会は認められず彼は留置所に勾留されることになった。彼のロッカーから犯行に使われたであろう工具が次々と発見されたからだ。

漸く許された面会で友人は探索者たちに自身の無実を証明してほしいと涙ながらに訴える。

探索者たちが事件を追いかける内に、この事件の裏にある恐るべき存在を認識し始める。

不可解な連続殺人：人間標本のモデルとして無作為に選ばれている。

被害者の共通点：それなりに美人であること（APP15-18）、鉄工所近辺に生活圏があること。

霧島虎鉄：重要参考人として連行される探索者の古い友人。

霧島渚：虎鉄の妹。実は…。

警察：状況と証拠を元に虎鉄を犯人と断定している。

桂 剛：鉄工所の潜む噂話【桂男】その正体である。鉄工所に潜む存在、というより鉄工所そのもの。

数多の工員の命を事故に見せかけて喰らうことで生きながらえてきたが、人間体の分身を作るに当たり「参考」という形で美貌にあふれる人間の頭を引き抜いていた。事件前後から見え隠れする幻の作業員の正体は人間体の桂である。（クトゥルフ神話参考：チクタクマン・人型チクタクマン）

進行表：5件の事件の報道を匂わせる、霧島虎鉄と食事（鉄工所への風当たりが強いといった愚痴を聞く）、6件目の事件発生、友人重要参考人として連行、警察署に出向く、状況証拠などが出て面会不可となる、時間をおいて再度面会をするか、書面で虎鉄から無実の証明と真犯人の究明を依頼される。

事件には渚も同行するようになる。渚から虎鉄の勤める鉄工所が怪しいと助言を受ける。以下調査内容。

- ・鉄工所の歴史上、死亡事故や失踪などが年に1度起こっていることがわかる。その最初の犠牲者が桂剛。

- ・鉄工所には、知らぬ間に作業を手伝う存在が曖昧な幻の作業員の噂話が流れている。

- ・事件の足跡を時系列に並べると、犯行現場が鉄工所付近から始まって徐々に遠くなっていることが分かる。

- ・事件の被害者全員が、事件の数日前～半月ほど前に【桂さん】に招かれて案内されて鉄工所を訪れている。

- ・すでに7人目の女性が桂によって鉄工所に招かれていた。その女性とは、霧島渚。

- ・桂男という伝承【満月でない夜に桂男に招かれると命を落とす】【外法に手を染めた月の罪人】

- ・犯行に使われたとされる工具などは霧島虎鉄が以前紛失したと周囲に触れ回っていたものばかりで、虎鉄以外にも自分の工具を紛失したという事例が何人もいる。

- ・度重なる事件の影響で受注が伸び悩み、近いうちに鉄工所は閉鎖される可能性がある。

クライマックスでは

工場閉鎖の数日前に渚が幻の作業員に誘拐されたというメールを送り、追跡してきた探索者と幻の作業員【劣化版人型チクタクマン】と戦闘。勝利すると本体の桂が動き出す。

その圧倒的な力によって探索者が蹂躪される直前、耳を劈く嘲笑とともに空の天気が急変し月の

形が三日月から満月へと変化する。

探索者がまばゆい光に目が慣れてきたころ、目の前には過去十数年間の死体と所在不明だった被害者の顔がくっついた人型のオブジェに恍惚とした表情で喰らいついている渚だった【何か】の姿を見る。

気が付くと探索者は病院にいた。「顔無し事件」は工場内に勝手に住み着いていた狂人の犯行として処理されており、虎鉄は皆を見舞いにやってきていた。

探索者が妹の渚という人物について尋ねると。

「誰だ、そいつ。俺に妹なんかいないぞ？」

原稿用紙一枚で作るクトゥルフ神話TRPGオリジナルシナリオ「殺害機構」

<http://p.booklog.jp/book/91533>

著者：ユキ・オトコ

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/cthulhutrpg/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/91533>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/91533>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ